

5 あぶらぎびりん 油木美林 【木曾町】

木曾ヒノキの大天然林と勇壮な滝

約48haに渡る木曾ヒノキの天然林は、尾張藩が保護してきた樹齢300年を超える大樹の林です。落差40mの百間滝や、こもれびの滝、不易の滝なども見どころ。

mini 知識

檜の枝「あかし」が油のようによく燃えることから、「油木」と呼ぶようになったと古くから言い伝えられています。木曾谷のお盆では、迎え火、送り火に檜の「松明」を使用する習慣があります。



木曾ヒノキの美林は歴史があるのね。



こもれびの滝
遊歩道入り口から数分のところ、木々に囲まれた滝が現れます。



不易の滝
落差30m、太古の時代からその容姿を変えぬことからその名の由来があります。太古の水が岩からしみだす景色は繊細な趣。



百間滝
美林の先に現れる白絹のような滝。左右に男蝶の滝、女蝶の滝を従えた壮大な姿が見られます。



木曾ヒノキの美林



木製チップが敷かれた遊歩道
歩道入り口付近に敷き詰められて、とても歩きやすくなっています。

歩きやすいね



森の代表的な花



ゴゼンタチバナ



コースガイド

歩行距離：約7.5km



Access

- ・JR 中央本線木曾福島駅下車
- ・中央自動車道塩尻 I.C. より約 74km
- ・中央自動車道伊那 I.C. より約 59km

